事例No.	881
公表年度	R1
団体の属性	町村
団体名	岩手県西和賀町

事例区分	一般行政

タグ	・教育・子育て ・地域運営組織 ・人材確保・育成

事例種類	木材利用・普及啓発

事例内容・タイトル

小中学校の授業における森林環境教育

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年１月）

岩手県　西和賀町（小中学校の授業における森林環境教育）

わがまちの税活用方針

・本町は、奥羽山脈の山懐に位置し、広大な森林面積を有する山間地帯である。町の豊かな森林は貴重な地域資源だが、近年は、自分が所有する森林にさえ目を向けることが少なくなり、森林整備の遅れや林業従事者の減少につながっている。

・そのため、新たに譲与される森林環境譲与税を活用し、町内の小中学校の授業の一部に森林環境教育を取り入れ、西和賀の子どもたちは、必ず地域の森林・林業について学ぶ機会を得られるようにするという新規事業に取り組む。

主な取組・概要

・町内の小中学校４校の授業において、外部講師による森林環境教育を実施。

・子どもたちが、自分達のすぐそばにある森林が多面的機能を持っていることや、町の貴重な地域資源であることに気づき、さらにその森林を持続していくためにどうすべきかなどの課題を見つけ、その解決策を考える機会を作る。

　また、子どもたちの将来の職業の選択肢として林業が当然含まれるようにする。

【事業費（内譲与税額）】：371（371）千円

【実施時期】：令和元年６月～９月

【事業内容】

１　小学校（沢内小学校３学年・湯田小学校４学年）

〇クイズ形式で森林の役割等について学ぶ講義（共通）

〇薪割体験（割った薪は炊事遠足で利用）（沢内小）

〇木工体験（湯田小）

２　中学校（沢内中学校２学年・湯田中学校１学年）

〇次の内容を含む講義

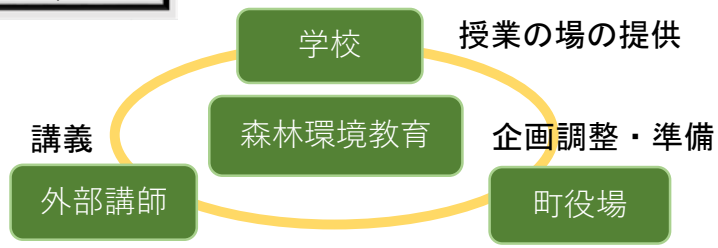
・「植える」「育てる」「使う」という森のサイクルの重要性

・町の貴重な地域資源である森林

・林業という職業

〇薪作り（作った薪は道の駅等の薪ストーブに利用）

事業スキーム







工夫・留意している点、特徴等

１外部講師については、町内２名町外１名とし、森林・林業を取り巻く地域の実情を共有して授業を実施する。

２講義だけではなく、実際に木を切るまたは割る体験を組み合わせることで、木に直接触れ、木を身近に感じ、記憶に残りやすい授業にする。